

(2) 梅毒の発生状況

平成 23 年以降増加のみられた全国の梅毒報告数について、令和 3 年以降顕著に増加がみられている。これを踏まえ、鳥取県における過去 10 年の年別報告数の推移、年齢別報告数についてまとめた。

ア 年別報告数の推移

全国の梅毒報告数は令和 3 年以降急増しており、令和 4 年の報告数は 13,221 件であった。鳥取県においては、令和 2 年までは増加していたが、令和 3 年、4 年は届出数が減少した。

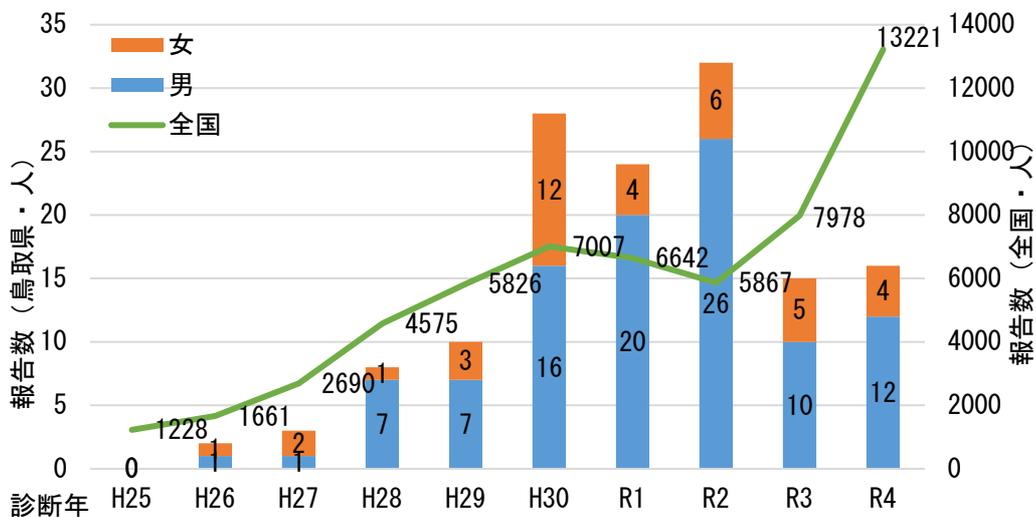


図 5 全国及び鳥取県内の梅毒年別報告数の推移

イ 年齢別報告数 (令和 4 年)

男性では 20 代から 70 歳以上まで全ての年齢層で報告があったが、女性では 20 代～30 代に限定していた。いずれも早期顕症梅毒 (I 期、II 期) 又は無症候 (無症状病原体保有者) であった。

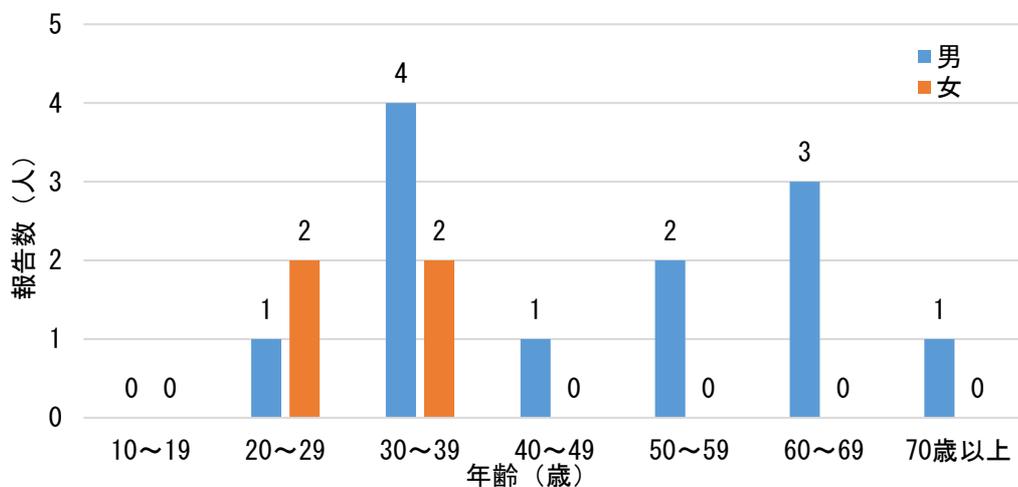


図 6 令和 4 年の鳥取県内の年齢別・性別報告数